

2010年 F4西日本シリーズ Rd,5 吉田広樹

＜鈴鹿サーキット＞



前回のレースではムーンクラフト様の新型F4で参戦させていただき、優勝という最高の流れで迎えたシリーズ第5戦。今回はS-GTのサポートレースとして開催され、沢山の関係者の方にアピールする絶好のチャンスであると同時にシリーズのチャンピオン争いを考えても絶対に勝ちたいレースでした。

8月19日 フリー走行 DRY

今回のレースは木曜日からスポーツ走行があり、前回のレースではほとんどDRYコンディションで走ることが出来なかったため、精力的に周回を重ねます。まずは前回の予選セットをベースに問題点だったアンダーステアの対策を行います。レースウィークに入る前に今回のテストメニューを考えていたため各セッションしっかりとメニューをこなし、データをとりました。最終的にこの日は終日ユーズドタイヤでの走行になったのですが、2'08,5というタイムでまずまずのポジションにつけて終えることとなりました。

8月20日 フリー走行 DRY

この日からレプリスポーツの皆さんに加え、服部さんや、ムーンクラフトの方にも合流していただき予選、決勝に向けてセットアップを進めていきます。朝1本目の走行から昨日のベストタイムを大幅に上回る2'07,3というタイムを刻みトップにつけます。1本目の結果からセッティングを変更し、走行を重ねます。このセッションで、予選に向けNEWタイヤでアタックする予定だったため、NEWのグリップを想定したセッティングを行います。しかしNEWタイヤを使う前に電気系のトラブルでコースサイドにストップしてしまいました。しかしチームスタッフの迅速な作業のおかげで最後のフリー走行となる次のセッションに間に合い、NEWタイヤでのアタックを開始します。計測3周目には2'08,1というタイムを刻みピットイン。朝の走行から考えるとNEWタイヤにも関わらず約0,8秒ものタイムダウンとなってしまいます。トップとのタイム差もあることから、セッティングを変更しもう1セットNEWタイヤでアタックを開始。計測1周目から先ほどのタイムを0,1秒上回る2'08,0というタイムを刻むのですが、その後はタイムアップは出来ず、最終的にトップから1秒落ちの3番手で最後のフリー走行を終えることとなりました。

Team Naoki
with
Laapad
LAPAD SPORT

＜NO.1＞

2010年 F4西日本シリーズ Rd.5 吉田広樹

〈鈴鹿サーキット〉



8月21日 公式予選 3番手/20台中 DRY

予選に向けて昨日のフリー走行でトップとのタイム差が1秒もあつたことや、朝の走行からのタイムダウンについて、チームの皆さんと話あいました。午後に入り気温、路面温度ともに確かに上昇しているのですが、周りの選手もそこは同じなので、その部分以外の要因が考えられます。セッティングの部分や、自分のドライビング技術などいろいろな要因が考えられましたが、今回は自分のわがままを聞いてもらい、セッティングを朝の状態に戻して予選を走らせていただくことになりました。午後に入り、気温・路面温度ともに上昇する中、公式予選を迎えることとなりました。今回はS-GTと併催ということで路面にタイヤラバーものっていることから先頭でのアタックを試みます。計測2周目には昨日のタイムを大幅に上回り2'07.0というタイムでトップにつけます。しかしこの周はトラフィックに引っ掛かってしまったことから、続けてアタックします。タイヤの1番グリップがあるところは過ぎてしまったのですが、どうにかタイムアップに成功し2'06.9というタイムを刻みました。しかし後半アタックを行ったドライバーに更新され最終的にトップから約0.3秒落ちの3番手で公式予選を終えることとなりました。

8月22日 決勝 3位/20台中 DRY

予選を終え、金曜日ほどのタイム差はなくなったのですが、それでもまだトップとのタイム差があります。今回のレースは1年で1番暑く、タイヤの使い方がポイントになります。そのため決勝で優勝する為に、タイヤをいたわるマシンセッティングをチームの方と話し合い決勝を迎えました。マシンの特性などからスタートでのポジションアップに重点をおき、フォーメーションラップでもリアタイヤを入念に温めます。

そしてシグナルレッド・消灯・スタート！！

タイミングもよく1コーナーまでに1台をパスし、2番手にポジションアップ。そのままトップを追うのですが、フロントタイヤの温まりが悪く少しアンダーステアが強い状態でしたが、後半のことも考え焦らずについて行きます。しかし1周目のバックストレートで1台に抜かれ、続く2周目のホームストレートでも更に1台にパスされ、4番手にポジションを落としてしまいます。ここからはプッシュはするのですが、タイヤを痛めないよう我慢の走行が強いられます。前車についていき隙をうかがっていた4周目、スプーンコーナーの立ち上がりでスリッパにつきシケインのブレーキングでインをさして3番手にポジションアップ。しかし続くホームストレートでまたしても抜かれてしまいます。さきほども同じシュチュエーションがあつたので、相手の苦手なところ考えパスされた後の2コーナーで強引にインにマシンを捻じ込み、3番手を奪い返すことに成功し



Team Naoki
with
LaSalle
LAPRINT SPORT

〈NO.2〉

2010年 F4西日本シリーズ Rd,5 吉田 広樹

〈鈴鹿サーキット〉

ます。そこからの残り5周はプッシュし、前半に比べリヤタイヤのパフォーマンスが落ちてきたところでマシンバランスは良くなりました。しかし2位との差をつめることは出来ず、最終的に3番手でレースを終えることとなりました。

今回のレースは新しいメーカーのマシンもデビューしたり、シリーズチャンピオン、また自分の今後の為にも特に大事なレースでした。そんなレースをこのような情けない結果で終えて、本当に悔しい気持ちでいっぱいです。応援してくださったスポンサー様やメーカー様、チームの皆さんや関係者の方にも申し訳ない気持ちでいっぱいです。自分の速さ、セッティング能力、いろいろな面で力不足を痛感しました。シリーズランキングでも残り1レースで5ポイント差と追い込まれてしまいました。最終戦に向けもう一度初心に戻り、今の自分に出来ることを全てやって優勝、そしてシリーズチャンピオンをとりに行きます。引き続き、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い致します。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹



Team Naoki
with

Le Prix Sport
LE PRIX SPORT

〈NO.3〉